

建設部会長報告

第4回建設部会は、3月9日ホール80において、19名が出席し開催しました。

今回は、ゲストとして一般社団法人平鹿建設業協会建青会会長の吉田昌平氏、平鹿建設業協会事務局長の加賀屋好宣氏、よこて建設女子会実行委員長の半田亜史氏、参加職員の太田ゆい氏、一般社団法人秋田中央建設業協会事務局長の菅原俊幸氏、秋田瀝青建設株式会社の太田氏をゲストに招き、「建設業における女性技術者の確保・育成」について懇談しました。

はじめに、平鹿建設業協会の吉田氏、加賀屋氏、よこて建設女子会実行委員会の半田氏から、昨年11月26日に実施した「よこて建設女子会」について、

- 昨年7月に県建設部の「建設業担い手確保育成支援事業」として選定され、11月に「よこて建設女子会」を実施した。高校生14名、社会人12名が参加し、工事現場見学と建設女子会（パネルディスカッション）を行った（2時間30分）
- 参加した高校生は、現場に直接行って見聞きできたことや、現役で働いている人から話を聞いたことに満足度が高かった
- 参加した社会人も、他の技術者と悩みを話し合えたことや、仲間ができたことが好評だったが、時間が足りなかったという声も聞かれた
- 学校関係者からは来年も開催してほしいという要望があったと述べられました。

よこて建設女子会参加の太田氏から、建設業に従事して感じることにについて、

- 昨年入社したが、建設業は想像していた以上に厳しい世界。辞めたいと思ったこともあったが、この仕事が好きだから続けている。現在、女性にとって働きやすい職場ということで、トイレや制度等の環境作りが行われているが、男女平等に働ける現場こそが魅力的だと思う。男女差で仕事が決まるのではなく、その人の特性を伸ばしてくれる環境でいつか仕事がしたい

と述べられました。



次に、秋田中央建設業協会の菅原氏から、協会で作成したパンフレットについて、ご説明いただきました。秋田瀝青建設株式会社の太田氏からは、建設業に従事して感じることにについて、

- 今の職場の配慮、家族の支えと協力があったから、20年間建設業界で働き続けることができた。建設業は3K（きつい・きたない・きけん）のイメージがあるが、あまり感じたことはない。生活基盤を整備する重要な役目を果たしていることにやりがいを感じている。今後、建設技術者になりたいという女性が増えていくことに期待したい

と述べられました。



懇談に続き、平成29年度部会活動計画について協議し、再生可能エネルギー等に関するインフラの整備状況の視察、建設業における最新技術や注目事業等の情報提供、行政機関への要望などの計画を承認しました。以上が建設部会からの報告です。